

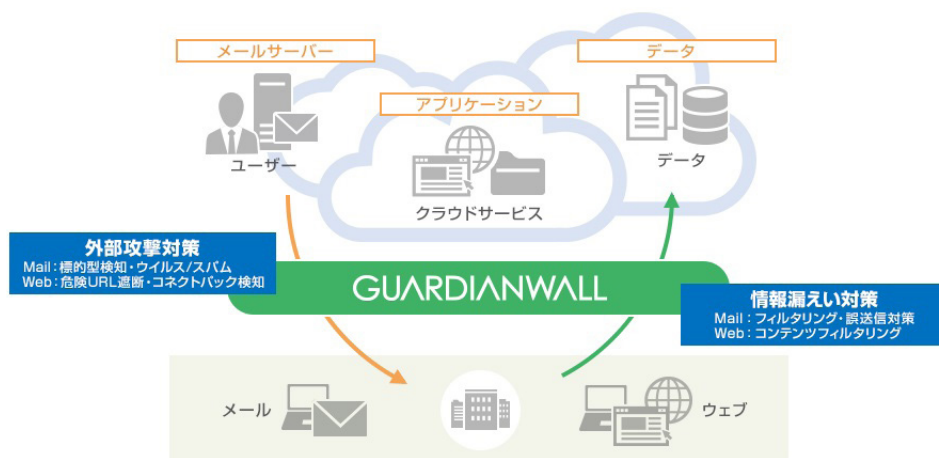
# NEWS RELEASE

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

## ウェブ経由による情報漏えい対策サービス

“Security Gate for Proxy” および “GUARDIANWALL WebFilter Ver 1.4” を提供開始

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キヤノン MJ)は、「GUARDIANWALL(ガーディアンウォール)」シリーズのウェブ経由による情報漏えい対策サービスとして、新たに展開するクラウドサービス “Security Gate for Proxy” と、オンプレミス向けソリューションの新バージョン “GUARDIANWALL WebFilter Ver 1.4” を2019年5月8日より提供開始します。



国内では、2018年より本格化した常時SSL化の広まりにより、ウェブ通信の暗号化が一般的になり、盗聴や改ざんの防止といった安全性が享受できるようになりました。一方、情報漏えい抑止や安全なウェブサイトの閲覧といったセキュリティの確保のために実施するURLフィルタリングや外部送信データの検査は、暗号化された通信においては通信速度が低下してしまう課題がありました。

「GUARDIANWALL」シリーズは、標的型サイバー攻撃などの脅威や、ウェブなどを通じて外部へ送信される情報の検査により、情報漏えいを防ぐセキュリティソリューションです。

新サービスは、新たに展開するクラウドサービス “Security Gate for Proxy” と、オンプレミス向けソリューションの新バージョン “GUARDIANWALL WebFilter Ver 1.4” として提供します。

キヤノン MJ 独自の言語解析技術を生かしたフィルタリング機能を拡張し、新たに改正個人情報保護法、新元号に対応した検査機能を備え、運転免許番号や住民票コードなど、個人情報のキーワードを含む通信を制限します。さらに、検査機能のパフォーマンスを向上しており、従来に比べて<sup>※1</sup>SSLデコード処理は約2倍、検査(テキスト抽出処理)機能は約10倍の高速化を実現しています。強度な情報漏えい対策を施しながらウェブ利用の利便性を向上しています。

製品名	価格(税別)	提供開始日
Security Gate for Proxy	30万円/月(500モデル <sup>※2</sup> )～ <sup>※3</sup>	2019年5月8日
GUARDIANWALL WebFilter Ver1.4	15万円/年(25ユーザー)～	2019年5月8日

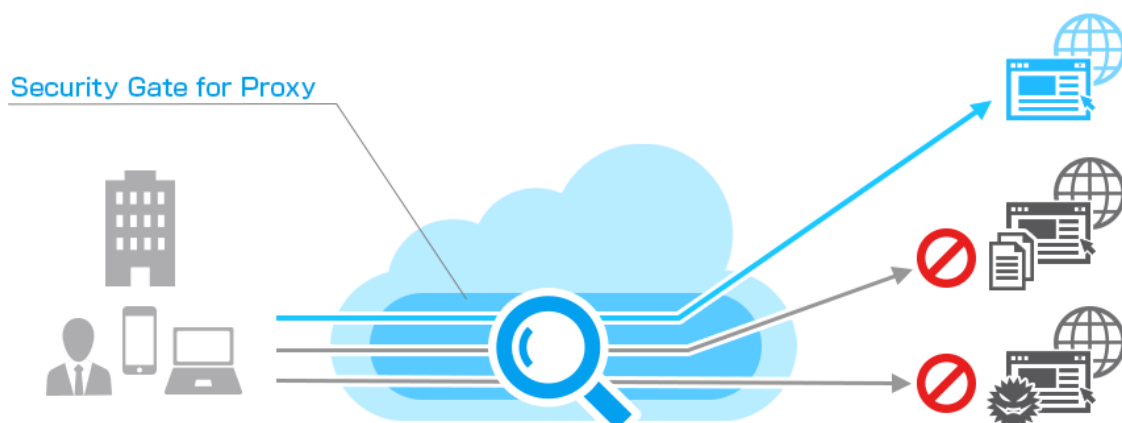
※1 「GUARDIANWALL WebFilter Ver1.3」と比較。一定の負荷をかけたときの処理数の比較で、最大パフォーマンスの比較ではありません。

※2 251～750ユーザー程度。

※3 初期費用(20万円(税別))が別途必要となります。

- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
ゲートウェイセキュリティ企画本部 企画部 03-6701-3336
- 「GUARDIANWALL」ホームページ : <https://www.canon-its.co.jp/products/guardianwall/>
- ニュースリリースホームページ : [canon.jp/newsrelease](http://canon.jp/newsrelease)

## <概要図>



## <“Security Gate for Proxy”の主な特長>

- ・「GUARDIANWALL WebFilter」利用したクラウドサービス
- ・情報漏えい対策に必要なフィルタリング(ポリシー含む)が設定済みですぐに利用可能
- ・ユーザー規模やログ保存期間によるサービス利用料課金となり、利用モデルのユーザー数レンジであればユーザー数の増減による追加料金は不要

## <主な共通特長>

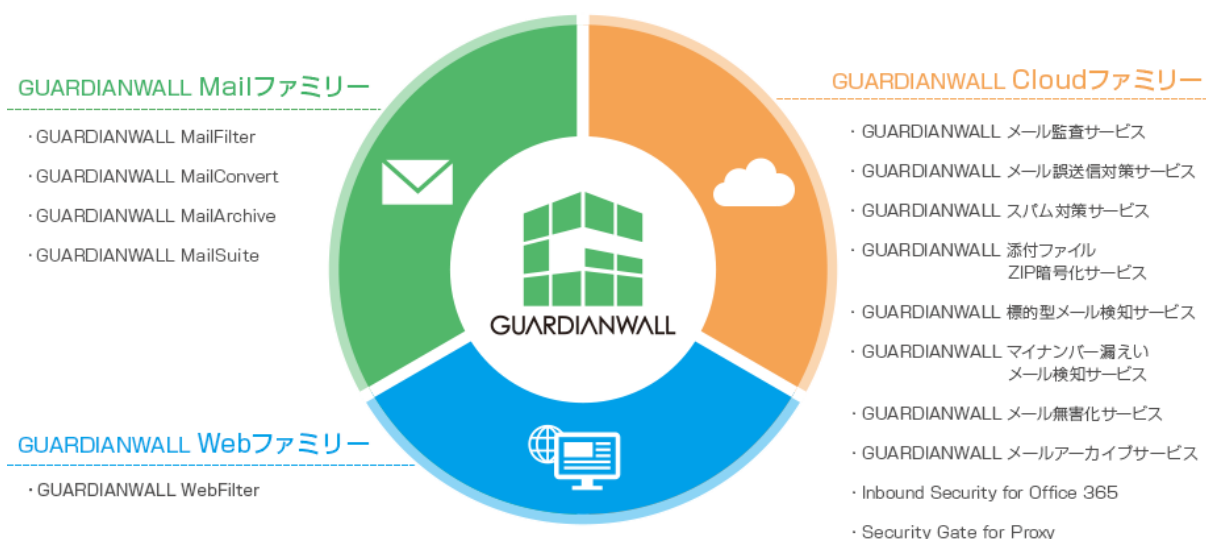
- ・SSL デコード処理は従来比<sup>※1</sup>約2倍高速化
- ・検査(テキスト抽出処理)機能は従来比<sup>※1</sup>約10倍高速化
- ・改正個人情報保護法、新元号に対応した個人情報検査機能の拡張(特許取得済み)  
パスポート番号、運転免許書番号、住民票コード、基礎年金番号、傷病名などに対応
- ・ウェブサイト網羅率99.9%を達成しており<sup>※2</sup>、カテゴリーのURL情報をリアルタイムに更新し、運用者の負担の軽減を実現
- ・キャノン MJ 独自の言語解析技術(個人情報検査、特許取得済み)を活かしたコンテンツフィルタリング機能により指定したキーワード含む通信を制限
- ・ウェブサービスの種別だけでなくインターネットを利用した情報の出入り(キーワード)を制御し、企業内のセキュリティーポリシーに沿った柔軟なルール設定により、業務外のウェブ利用を制御可能

※1 「GUARDIANWALL WebFilter Ver1.3」と比較。一定の負荷をかけたときの処理数の比較で、最大パフォーマンスの比較ではありません。

※2 2019年2月、当社調べ

## <「GUARDIANWALL」シリーズについて>

「GUARDIANWALL」シリーズは、「GUARDIANWALL Mail ファミリー」、「GUARDIANWALL Web ファミリー」、「GUARDIANWALL Cloud ファミリー」で構成する総合情報漏えい対策ソリューションです。企業活動に欠かせないメールとウェブ、利用が拡大しているクラウドサービスにおいて、重大なセキュリティ事故につながる恐れのある情報漏えいを防止するソリューション群を提供しています。



### ■ GUARDIANWALL Mail ファミリー について

「GUARDIANWALL Mail ファミリー」は、メールに関する総合情報漏えい対策ソリューションです。GUARDIANWALL MailFilter (メールのフィルタリング)、GUARDIANWALL MailConvert (添付ファイル暗号化等変換)、GUARDIANWALL MailArchive (メールの保存) と、3製品を統合したパッケージ GUARDIANWALL MailSuite の4つの製品体系で構成され、必要な製品 (機能) を自由に選択・組み合わせて利用できます。

### ■ GUARDIANWALL Web ファミリーについて

「GUARDIANWALL Web ファミリー」は、ウェブサイトへのアクセスをカテゴリーごとに制御し、業務外のウェブ利用の制御に加え、外部へ送信される情報 (メールや SNS などに添付されるファイル内のテキスト情報を含む) を検査する機能により、ウェブからの情報漏えいを防ぐソリューションです。GUARDIANWALL WebFilter で構成されます。

### ■ GUARDIANWALL Cloud ファミリーについて

「GUARDIANWALL Cloud ファミリー」は、メールとウェブからの情報漏えいを防ぐクラウド型のサービスです。面倒な導入・運用作業や機器の用意が不要で、簡単な申し込みでサービスを開始することができ、10種のサービスから必要な対策を自由に選択・組み合わせできます。